

～卒業生と語る会がありました～

3月24日（月）に卒業生と語る会が行われ、第26期生の代表生徒が在校生に向けてアドバイスを送りました。在校生は真剣な様子で話を聞き、メモをとる姿が見られました。

鳴門教育大学 学校教育学部 合格

鈴木晃駿くん（総社西中出身）

自分のことなので自分との戦いは何度もありました。しかし、受験は団体戦とよく言いますが、周りが頑張る姿を見て、頑張れたことも何度もあります。僕は一人では合格はできなかったと思っています。自分が頑張れば周りの力にもなるので、お互いに刺激しあってください。

勉強や進路についてわからないことや不安があれば、しっかり先生や先輩を頼ってください。きっと親身になって考えてくれます。自分の志望に近づけるよう応援しています。



岡山大学 文学部 人文学科合格

高田 夏実さん（矢掛中出身）

週6日の部活と、遠距離通学により、勉強時間は限られていましたが、やるべきことはきちんとするよう常に心がけていました。帰宅して就寝までの間には必ず翌日の予習を済ませるようにして、小テスト勉強は通学中の電車の中で行いました。提出物は100%を目指し、試験勉強も、とにかく手を抜かず、できる限り時間を費やしました。このような勉強に対する積極的な姿勢は、確実に私の学力に結びつきました。

つらい思いをたくさんするときがあるかもしれませんが、最後まであきらめないでください。



29期生を迎えました！

去る4月8日（火）、第29期生の入学式が行われました。真新しい制服に身を包んだ新入生は大きな希望を胸に総社南高生としての第一歩を踏み出しました。「チーム総社南」のメンバーが新たに増えたことによる喜びを感じるとともに、個々が大きく成長してくれることを願います。



Because 展 ご来場ありがとうございました

Because 展を開催 ■3月12日～16日 総社市総合文化センター

25年度も、保護者の皆様、地域の方々、校内外の関係者の皆様に支えられ、美術工芸系は無事活動することができました。一年間の成果を総社市の皆様に紹介するこの作品展は、今年で7回目を迎えました。今回は過去最多の作品数と各種受賞作品などで充実した会場作りが行えました。来場された方から温かい励ましを頂き、感想や質問、思い出など、たくさんの交流を持つことができたことが喜びです。来年度も多くの方にアピールできるよう、美術工芸系一丸となって一層精進していきたいと思います。



おかえりなさい♪ ～国際系より～

3月下旬、1年間の留学を終え、オーストラリアから3名の生徒が帰国しました。帰国した生徒に向こうでの生活について聞いてみました。

振り返ってみるとあっという間に過ぎていったなと思います。それほど充実していて毎日新しい事を学び体験しました。オーストラリアでは言語はもちろん、生活の仕方、学校の規則や仕組みなど様々な事が違い、正直戸惑うことばかりです。でもそこが面白く留学生活の醍醐味だと思います。

私が通っていたマリヤッタビル高校での生活はとても充実していました。マリヤッタビル高校ではコンピューターでレポートを作ったり、プレゼンテーションをすることが多いです。今まで日本ではあまりそういった機会がなかったので慣れるまでに時間がかかりました。また、マリヤッタビル高校は総社南にはない行事があります。私が今まで体験した行事は、私服で学校に行く”Casual Day”、留学生たちが自分の国の料理を作って屋台のように売る”Big Day In”。どちらも新鮮でとても楽しむことができました。

もちろんホストファミリーと過ごす時間も充実していてとても貴重な体験をさせてもらいました。キリスト教の家庭だったので毎週日曜日には教会に行ってお祈りをしたり、キリストの歌を歌ったりしています。この体験は日本では体験することができないことなので一番印象的でした。

自分の英語力は留学を始める前よりは良くなりましたが、まだまだなところも多かったと思います。しかし私の至らない英語でもホストファミリーや友達、先生方が話をしてくれて、間違った英語を使っていると教えてくれたり、私が理解できない単語があれば簡単な単語で説明してくださったりして、上達を助けてくれて本当に嬉しく思っています。英語力だけではなく、精神的な面などさまざまなところで成長できた留学生活でした。

（3年 田邊 侑 倉敷庄中出身）

